

商品名：アスファーゲン静注 20mL

英名：Asphagen Injection

一般名：グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・L-システイン
塩酸塩水和物

適用区分：

**この薬の作用と効果について**

- ・肝臓の炎症をしずめ、肝臓の働きを改善します。
- ・アレルギーをおさえる作用により、湿疹・皮膚炎などを改善します。

注射の前に確認すること**・次のような人は注射のまえに主治医に申し出てください：**

以前に薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどが出たことがある。
以前にアスファーゲン静注 20mLに含まれる成分を飲んで、または注射を受けて、発疹やかゆみが出たことがある。
アルドステロンの過剰分泌がある(アルドステロン症)。
筋肉がこわばる(ミオパシー)。
血液中のカリウムが低い(低カリウム血症)。
高齢者。
甘草を含む薬を飲んでいる。

・この注射を行う期間：

症状をみながら投与の期間を決めていきます。

・注射の方法：

通常、1日1回、静脈内に注射または、点滴静注します。

・その他：

授乳中、妊娠または妊娠の可能性のある方は申し出てください。

副作用について

・薬は人によって、目的の効果以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。

◎次のような症状に気づいたら、すぐに主治医や薬剤師、看護師に申し出てください：

<ショック、アナフィラキシーショック>めまい、立ちくらみがする、気をうしなう、息が苦しい、息切れがする、息ができない、顔や体が赤くなる、顔やのどがはれる。
<アナフィラキシー様症状>息が苦しい、息切れがする、顔や体が赤くなる、顔やのどがはれる。
<偽アルドステロン症>頭が重い、頭が痛い、肩がこる、耳なりがする、めまいがする、顔がほてる、体がむくむ、体重が増える、体がだるい、手足に力はいらない。

◆次のような症状に気づいたら、早めに主治医や薬剤師、看護師に相談してください：**◇上記のほかに次のような副作用が出ることがあります：**

<血清カリウムの低下>体がだるい、手足に力はいらない、のどがかわく、尿の量が多い。
<血圧上昇>頭が重い、頭が痛い、肩がこる、耳なりがする、めまいがする、顔がほてる。
<発疹>発疹(ほっしん)がでる。
<上腹部不快感>お腹のあたりが気持ち悪い。
<全身倦怠感>体がだるい。
<筋肉痛>筋肉が痛い。
<異常感覚>しびれ感、ピリピリ感。
<発熱>熱がでる。
<過呼吸症状>肩が温かい感じがする、手足が冷たくなる、冷や汗がでる、口の中がかわく、のどがかわく、胸がドキドキする。
<尿糖陽性>尿の量が多い、体がだるい。
<蕁麻疹>じんましんができる。
<痒痒>体がかゆい。
<浮腫>体がむくむ。
<嘔気・嘔吐>はきけがする。
<咳嗽>せきがでる。
<一過性の視覚異常>目がかすむ、目がチカチカする。
<頭痛>頭が痛い。
<熱感>体が温かい感じがする。
<気分不良>気持ちが悪くなる。

・他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。

注射のあとに注意していただくこと
その他（コメント）
説明日
説明者

ここには、知っておいて頂きたい主な事柄だけが書いてあります。
より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。
また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。